

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ意見まとめ

地区	三谷地区	回数	第5回
日時	平成31年3月10日（日） 午後1時30分～午後4時30分		
会場	三谷公民館 大集会室	参加者数	24名

### 1. 将来の施設の配置としてふさわしいと考える案

#### A案

今後子供の数が増えないのであれば学校を統合する必要がある。三谷地区の中心に子どもを集めることで、地域の一体感と伝統を守ることにもつながると思う。

- ・ 子どもが増える見込みがないので、学校統合はするべき。
- ・ 三谷の中心に子どもを集めることで、地域の一体感と伝統を守ることにもつながると思う。

三谷小学校の敷地に小学校を統合した方が、多くの子どもにとって通学するのに便利だ。

- ・ 小学校が、多くの子どもにとって通学するのに便利な立地になる。
- ・ 統合した小学校が、多くの子どもにとって通学するのに便利な立地になる。

小学校と公民館を複合すると、学校への不審者の侵入など防犯面に不安が残るので、複合しない案の方が望ましい。

- ・ 小学校と公民館を統合する場合、学校への不審者の侵入など防犯面に不安が残るため、統合しないA案が望ましい。

#### 【付帯事項】

公民館機能を移転した後も現在の公民館の建物を長寿命化して残し、三谷祭のための施設として活用できるようにしてほしい。

- ・ 公民館は三谷祭のためだけの施設ではないため、耐震化した現在の三谷公民館を長寿命化しながら三谷祭りのための施設として活用することができれば、公民館の機能は児童館の場所に移っても良い。

年に1回の祭りよりも日常的な利用を重視するのであれば、今の場所にこだわらず安全性や使い勝手を考えて移転すればよい。祭りは移転した場所に応じて、やれるようにやれば良いのではないかと。

- ・ 公民館は移転場所の検討の前に役割を議論する必要がある。1年に1度の祭りのため

のものなのか、日常的な利用のためのものなのかに応じて、移転場所の判断が変わってくる。年に1回の祭りよりも日常的な利用を重視するのであれば、今の場所にこだわらず安全性や使い勝手を考えて移転すればよい。移転したらその場所で祭りはやれるようにやればよい。

**保育園を三谷東保育園の場所で統合するのであれば、アクセス向上のために送迎バスを出せるとよい。**

- ・ 保育園を三谷東保育園に統合させるならば、三谷東保育園にできる新しい園に送迎バスを出すと良いのではないだろうか。

#### **A1案**

**高台にある三谷東小学校の敷地で保育園を統合すると防災面で安心なのに加え、複合しても敷地の余裕があり、周辺の交通環境が良いので送迎も便利になるのでよい。**

- ・ 南海トラフを考えた上でも、海拔6m以上の高台にある三谷東小学校に保育園を統合するのは良い。三谷東小学校はもともと中学校だったので、敷地的な余裕があり、機能を複合するのに適している。
- ・ 三谷東小学校跡地に保育園が立地すれば、周辺の交通環境からみても送迎が便利になる。

#### **【付帯事項】**

**中学校と保育園が複合されるので、配置計画などで機能を分け、管理責任を明確にする必要がある。**

- ・ 中学校と保育園の複合になるため、管理責任の明確化や配置計画等建物の手立てで分けることを徹底しなければならない。

#### **A2案**

**コスト削減の観点やいじめ対策の面から考えて、小学校は統合すべきだと思う。通学が不便になる子どもの数がより少なく、地域の実情に合っている案が良い。**

- ・ 小学校の統合をするかしないかをまず決める必要があると思うが、コスト削減の観点やいじめへの対策の面から考えて統合はすべきだと思う。子どもの数が多い方が、いじめへの対処がしやすいのではないかと。統合を考えた場合、通学が不便になる子どもの数がより少ない案の方が良い。
- ・ 2つの小学校を統合する必要性があるのは理解できる。統合するとしたら三谷小学校に三谷東小学校を持っていくことになるのだろう。
- ・ 統合するのであれば、基本的には三谷小へ統合するA案がよい。児童の通学距離の関係でバランスが良く、地域の声や実情にもあっているからだ。

- ・ 統合した小学校が、多くの子供にとって通学するのに便利な立地になる。

三谷中学校を今のままの場所に残せる点が良い。中学校はグラウンドが広く、高台にあるので避難所として適しているが、その機能が維持できる。

- ・ 三谷中学校はグラウンドが広く、高台にあることも踏まえると災害時の避難所として適していると思う。この案では中学校を今の場所に残すので、避難所機能が継続できるのがよい。
- ・ 中学校がそのまま現地で維持できるという理由でA2案がよい。

保育園、小学校、中学校と世代を分けて整備するので、複合化によるデメリットを回避できる。

- ・ 保育園、小学校、中学校をそれぞれに整備するのは良いと思う。複合化のデメリットを回避できる。
- ・ 中学校と保育園を同じ敷地で機能集合するA1案は、利用する世代が離れすぎていていろいろと問題がでるかもしれないので、保育園、小学校、中学校と世代を分けて整備する案の方がよい。

2つの保育園だけを統合するには三谷東小学校の敷地は広すぎるという意見もあるが、広い敷地を利用して充実した駐車場と園舎、園庭を整備できれば、子育て世代にとって魅力あるものになるのではないかと。

- ・ 2つの保育園を統合するには三谷東小学校の敷地は広すぎるという考えもあるが、広い敷地に充実した駐車場と園舎、園庭を整備できれば、子育て世代にとって魅力あるものになるのではないかと。良い保育園があるから行かせたいと思うかもしれない。地域の売りになり、魅力づくりにも繋がる。
- ・ 広い三谷東小学校の跡地に保育園ができれば、保育園に付加価値が付く可能性がある。
- ・ 三谷東小学校は元々中学校だったため、機能を複合させるための敷地的な余裕があり、保育園を統合した場合にも駐車場の確保がしやすい。

#### 【付帯事項】

広い三谷東小学校の敷地に保育園だけを整備するのはもったいないので、保育園を三谷東小学校に移転するか、三谷東保育園の場所で統合するかをいま一度検討する必要があると思う。

- ・ 三谷東小学校の跡地は保育園だけを整備するには広すぎるので、やはりもったいないと思う。A2案になるなら、保育園を三谷東小学校に持っていか、三谷東保育園の場所で統合するかをいま一度検討する必要があるのではないかと。

三谷東保育園は2つの園を統合するには狭い。現状でも駐車場が足りないのに、子どもの数が増えたらさらに対応できなくなると思うので、三谷東保育園の敷地での統合は現実的ではない。

- ・ 三谷東保育園は2つの園を統合するには狭い。今でさえ駐車場が狭いのに、子どもの数が増えたら対応できないだろう。周辺で駐車場を確保するのも難しい。

1年に1度の祭りのためのものなのか、日常的な利用のためのものなのかという、公民館の役割をまず考えた上で、移転場所を検討する必要があるのではないか。

- ・ 公民館は移転場所の検討の前に役割を議論する必要がある。1年に1度の祭りのためのものなのか、日常的な利用のためのものなのかに応じて、移転場所の判断が変わってくる。

三谷小学校の跡地に他の2つの小学校と公民館、児童クラブを複合しても、十分な機能が確保できるのかを具体的な配置案を見て検証したい。

- ・ 三谷小学校の跡地に他の2つの小学校と公民館、児童クラブの機能を集める場合、現状の敷地で全ての機能が十分に確保できるのかを具体的な配置案を見て検証したい。この案になるのであれば、案の決定前に配置案を住民に提示してほしい。

小学校と公民館を複合することになるので、学校への不審者の侵入を防ぐなどの防犯対策がしっかりできるように、管理責任の明確化や施設配置の工夫をしてほしい。

- ・ 小学校と公民館を統合する場合、学校への不審者の侵入など防犯面に不安が残るため、管理責任の明確化や配置計画等建物の手立てで、機能やエリアを分けることを徹底しなければならない。

中学校に50mプールがあるのは貴重なので、改築する際には現在の機能を損なわないようにしてほしい。

- ・ 中学校の改築に関して、現時点で50mプールがあるのは貴重であり現在の機能を損なうことがないようにしてほしい。

学校の統合に伴いスクールバスなどの通学対策をしてほしいという意見が出ているが、行政だけでできることではないと思うので、実現できるか疑問がある。

- ・ 学校を統合するならばスクールバスの運行を検討してほしいという意見が他のグループからあったが、スクールバスの運行などの通学対策は現実的なものか。スクールバスの運行の検討は、行政だけでなく名鉄や民間企業も含めた検討が必要であり、営利面で民間が参入しないと判断した場合、行政が責任もって対応できるのかが疑問だ。

この案で計画している全ての再編を一遍に行うわけではないと思うが、緊急性や実現性の高さを考え、スケジュールを立てて進めてほしい。

- ・ 計画されている全ての再編をいっぺんに行うわけではないだろう。必要性の高さや実現性の高さを考えて、スケジュールを立てて進めるべきだ。

小学校の統合に関する意向を聞くアンケートを実施した結果、統合の目処が立つということになればこの案でも構わない。

- ・ 小学校の統合に関する意向を聞くアンケートで統合の目処が立つのならばこの案でも構わない。

#### **B案**

三谷地区の中心に近い三谷小学校の跡地に子育てに関連する施設が複合化されることで、子育て世代にとって便利な町になる。

- ・ 地区の中心に近い三谷小学校の跡地に子育てに関連する施設が集合することで、子育て世代にとっては便利な町になると言える。

三谷小学校の敷地で2つの小学校を統合するとしても国の基準以上の面積が確保できることはわかったが、より広い敷地がある三谷東小学校の方が、広いグラウンドが確保できてよい。

- ・ 三谷小学校の敷地面積が基準上は十分な面積であることはわかったが、それでも敷地面積が大きく、広いグラウンドが確保できる三谷東小学校に統合した方が良いと考える。

三谷東小学校よりも児童数が少ない三谷小学校が移転する方が、スムーズに事業が進められるのではないかと。

- ・ 比較的生徒数が少ない三谷小学校側が動く方が、スムーズに事業が進められる可能性がある。

#### **【付帯事項】**

三谷東小学校に小学校を統合することで通学が不便になる子どもが比較的多く出るため、三谷地区のみでなく、市全域で学校の配置を再検討し、隣接地区の学校に通えるようにするなどの対策が必要である。

- ・ 通学が不便になる子どもが比較的多くなるため、これまでのWSの議論とは異なるが、通学が特に不便になる子どもについては、校区をまたいで竹島小学校に通学できるように配慮するなど、三谷校区のみではなく市全域の学校配置の検討が必要である。

#### D案全般（D案・D1案・D2案・D3案）

将来的には小学校を統合しなくてはならなくなると思うが、現時点では意見が分かれてしまい合意形成が難しいのではないかと。反発が大きくて事業が進まない可能性もあるので、もっと保護者や住民の間に危機感が広まるまでは2つの小学校を維持した方がよいと思う。

- ・ 現状で小学校の統合への合意形成ができるのか疑問だ。意見が分かれそうだし、無理に進めればしこりが残る。反発が多くて事業が進まなくなる可能性もある。
- ・ 将来的に小学校を統合しなくてはならなくなるのは理解しているが、現状で統合の話在市側からして受け入れられるのか心配だ。保護者や住民の間にもっと危機感が広まり、保護者側から統合してほしいという声が出てくるのなら良い。

小学校の保護者に統合に関するアンケートを行なった結果、前向きな意見が多ければ統合案でもよいと思うが、意向がわからない状況では判断がつかない。

- ・ 保護者にアンケートを取った結果、現状でも統合に前向きな意見が多ければ統合案でも良いと思うが、意向がわからない状況では判断できない。

小学校を統合しなくても2つの小学校を維持することができるのであれば、統合しない方がよいと思っている。

- ・ 小学校を統合しなくても2つの学校を維持することができるのであれば、統合しない方がよいと思っている。統合しないという選択肢が可能であるならD案もよい。

#### 【付帯事項】

将来的な小学校の統合に向けたステップという位置付けなので、これが完成形ではないことを踏まえ、当面は2つの小学校を維持しつつ、緊急性の高い三谷西保育園の移転などは先に進める。

- ・ 将来的な小学校の統合に向けたステップという位置付けなので、当面は2つの小学校を維持しつつ、三谷西保育園の移転などの緊急性のあるものは先に行える様に考える。

#### D1案

竹島小学校の学区問題のアンケートは実施したのに、小学校の統合に関してはアンケートをせずに案を議論するのはおかしいし、市の意図を感じる。保護者等の意向がわからない状況では統合の検討はできないと思うので、統合しない案、その中でもD1案がよい。

- ・ 小学校の統合に関する保護者や地域の意向をアンケートで聞くこともせずに、ワークショップで統合案を議論し、絞り込むのはおかしいのではないかと。竹島小学校の学区変更のアンケートはしたのに、小学校統合のアンケートはしていない。市の思惑があって、それに沿うデータになるものだけをやっている様に思える。現段階で統合についての

検討はできないと思うので、2つの小学校を維持するD案、中でもD1案がよい。

### D3案

地区の人口を考えれば、小学校の統合が必要になるまでにはまだ時間の余裕があるはずだ。統合問題は住民の分裂を招く可能性もあり、じっくり時間をかけるべきだと思うので、当面は現状に近い案で進めるのがよいと思う。少人数の方が子ども達を丁寧に見られるので教育上もよい。

- ・ 学校統合の問題は三谷町民を分裂させかねないものであり、遠い先の話はゆっくりとすべきである。他地域では、人口が数千人といった限界にきてから考えていることでもある。金の節減はすべてではない。統合の検討は時間のかかることなので、当面はD3が一番現状に近い案のため好ましい。
- ・ 子どもが少ないと教育上良くないという意見もあるが、その反対ではないか。少ない人数を丁寧に見られるので、現状の2小学校で続けることで教育環境にも良いと考える。

### 【付帯事項】

三谷小学校には公民館、児童館、児童クラブ、三谷東小学校には保育園と児童クラブが複合されるので、それぞれの機能をしっかり分けることが重要だ。

- ・ 三谷東小学校には保育園と児童クラブ、三谷小学校には公民館、児童館、児童クラブが複合されるため、複合されるそれぞれの機能をしっかり分けることが重要である。

## 2. 今後の検討内容や進め方について

### 1) 要検討項目

小学校の統合に関しては、三谷小学校と三谷東小学校の児童数や通学範囲だけを考慮して決めるべきではない。市として、市域全体での小学校の配置や校区を検討すべきだ。また、校区の境界部の子どもは、学校を選択できるようにする制度などについての検討も必要だ。

- ・ 三谷小学校と三谷東小学校の統合だけを考えるのではなく、市全体で小学校の配置や児童数の配分を考える必要があると思う。
- ・ 竹島小学校の学区変更ができて、三谷小学校の児童数が増えたとしても、それによって今度は竹島小学校への影響が出てしまうのでは困るだろう。三谷、三谷東、竹島、蒲郡南などを含めて考えるべきではないか。
- ・ 小学校の統合に関しては、市全域における小学校の配置方針を市が検討した上で判断する必要がある。
- ・ 校区の境界部に住んでいる子どもは登校する小学校を選択することができるルールなどがあれば、校区に関する問題は軽減されるかもしれない。

公民館は耐震補強工事が済んでおり、2、3階部分なら高潮時でも大丈夫な高さがあるのだから、機能を移転した後も建物はそのまま残し、一次的な避難場所として利用できないか。

- ・ 現在の公民館は耐震補強工事も済んでおり、2階や3階部分であれば高潮時でも大丈夫な高さだと思う。公民館を移転しても建物はそのまま残すことはできないのか。
- ・ 公民館について、どの案になっても建物は今のまま残してほしい。公民館活動が他に移ったとしても、周辺住民の一次避難場所としての役割が大きいので、その機能は残したい。

公共施設の再編では、学校の配置がまず優先されるべきだと思うので、公民館は学校の計画に伴って移転し、その場所に合わせた範囲で祭りをやればよい。

- ・ 公共施設再編の計画では学校が要なので、公民館は二の次である。移転が決まった場所に合わせて、やれるように祭りをすればよい。

向山公園は川に近いというデメリットはあるが、三谷西保育園の移転は急務なので、向山公園に移転することも検討してはどうか。

- ・ 防災上、三谷西保育園を移設させるのは急務である。案には無いが、「向山公園」に移設することは考えられないだろうか。一方で、向山公園は川が近いので心配もある。

小学校を統合して子ども達が切磋琢磨する環境を整えた方が教育上はよいと思う。

- ・ 教育上は小学校を統合して子ども達が切磋琢磨できる環境を作った方がよいと考える。

ワークショップ参加者の意向とは異なる案の評価得点が最も高くなっているため、評価の方法自体がおかしいと感じる。評価項目が大枠すぎるため、各案の評価に違いが出ないのも問題だ。

- ・ 項目ごとの評価結果を見ると、結果的に参加者の多くの意向とは違うB案の評価点が最も高くなっている。これでは、評価の方法そのものがおかしいということになるのではないか。市の思惑に沿って意図的につくられた評価表だと思われても仕方がない。
- ・ 評価項目が大枠すぎるので各案に違いが出ないのではないか。例えば「適切な通学距離」については、国の基準ではなく地域の実態に即して近距離圏（500mくらい）で評価すればA案とB案にも評価の違いがでるのではないか。

行政区と学校区が異なるというのは、地区のまとまりという点で地域にとって深刻な問題だ。区域の食い違いに伴う防災面、まちづくり面の問題点も評価項目として挙げるべきだと思う。

- ・ 地区のまとまりという点において、三谷地区のように行政区と学校区が異なるケース

は地域にとってはとても深刻な問題であり、その食い違いに伴う防災対策やまちづくり面での問題点といった視点も評価項目に挙げておく必要がある。

将来の三谷地区をどうしていきたいのかという上位のコンセプトが必要だ。再編によってコストを抑えるだけでなく、子どもが増えるまちづくり、地域に新しい魅力を生む再編という発想がないと地域が先細りしてしまう。

- ・ コストも大切だとは思いますが、その前に将来のまちづくりのために、次世代のためにという発想がほしい。
- ・ 公共施設の再編に向けて、そもそも三谷地区をどのような地区としたいのか、上位のコンセプトが必要である。例えば、「子育てしたくなる地区」にすることを目標とするなど、判断の基準となるようなものを検討した方が公共施設の再編についても考えやすい。
- ・ 公共施設の再編だけで解決できないことが浮き彫りになっている。子どもが減ることが前提で話を進めることよりも、子どもが増える地域づくりも考えたい。空地进行をまとめていくことでまとまった宅地開発をしたり、暮らしやすいまちづくりを考える時が来ているのではないだろうか。
- ・ 再編によって地域が先細りしてしまうのは問題だ。保育園の統合によって新しく魅力的な保育園ができるといった、夢のある部分も備えた計画にしてほしい。

## 2) 事業の進め方

小学校統合に向けたプロセスが重要だ。性急すぎると反発が生まれてかえって事業が進まなくなるので、合意形成に時間をかける必要があると思う。

- ・ 統合に向けたプロセスをどう踏んでいくかが大切だ。性急すぎると反発が生まれる。
- ・ ゆっくりともしっかり時間をかけ、学校の統合に向けて合意形成する考え方もあると考える。例えば過疎地は人口数千人規模の限界的な状況で判断を迫られている。まだ三谷には人がいる。

将来のビジョンとタイムスケジュールを示し、今すぐではないが〇年後に小学校の統合を考えているといった提示の仕方をすれば、心の準備ができるので抵抗も少ないのではないか。

- ・ 将来のビジョンを示し、今すぐではないが〇年後には統合することを考えているといった形で説明すれば心の準備もできるだろう。
- ・ 実現までのタイムスケジュールが必要ではないか。それを住民にも示してほしい。

防災対策として三谷西保育園は早い段階で移転すべきだろう。次に統合の合意形成ができるまで、当面は2つの小学校を維持し、最終的には統合するといった段階的な事業の進

め方をするのがよい。

- ・ 事業を段階的に進めるようにしてはどうか。まずは三谷西保育園の移設など、防災対策が第一である。第二に、小学校の統合の合意形成ができるまでは現状に近い2小学校を残したD案全般を目指し、最終的に学校を統合するという進め方になるのではないだろうか。
- ・ 三谷西保育園は安全性確保のために早く移転する必要があると思うので、再編はできるだけ早く行うべきだ。

段階的に事業を進めると言っても、3年後までの児童数の推移を見ると小学校の統合は既に避けられない問題になっていると思う。判断を先送りせず、児童数の基準などを検討した上で、統合の目標年次を定めて進める必要があるのではないか。

- ・ 段階的と言っても、統合を迫られる時が3年後なのか20年後なのかで違う。3年後までの児童数予測を見ると、統合しても学年2クラスの規模であることには驚いた。すでに統合は避けられない問題になっている。
- ・ D案は財政状況を考慮すると現実的ではないため、将来的な統合に向けた時間的な目標や、生徒数の基準などを検討し、判断を先送りすることのないようにする必要がある。

### 3) 検討の進め方や情報提供の方法

保護者や地域住民を対象とした小学校の統合についての意向調査をする必要がある。その際、現状をよく把握してもらえるように、市の財政状況、学区問題、児童数の推移などの情報をしっかりと伝えた方がよい。

- ・ 小学校の統合についての意向調査をする必要がある。保護者だけでなく、地域住民にもしてほしい。
- ・ 地域に住んでいても実情を知らない人が多いと思うので、統合の意向調査は市の財政状況、小学校児童数の推移、三谷地区から竹島小学校に通っている子どもがいる事実などの情報をしっかりと提供した上で実施する必要がある。
- ・ 竹島小でアンケートをとったように、三谷小や三谷東小のPTAの意見をしっかりと聴いた上で、統合するかしないかや方針を決めてほしい。まずはアンケートをとることから始めてほしい。
- ・ 小学校の統合に向けてアンケートを取る必要があるが、財政状況を具体的に伝えることで危機感を共有できるようなものとするべきである。

保有する建物の継続的な長寿命化によって、ライフサイクルコストの低減を図るという説明はあったものの、金額については示されていない。国では今ある建物を長寿命化していくことを推進しているにも関わらず、ワークショップは、公共施設の統合や複合を前提として進められているように思う。現在の建物の長寿命化についても検討して、誰もが納

得できる計画にしてほしい。

- ・ プランを実現する過程では、保有する建物の継続的な長寿命化によって、ライフサイクルコストの低減を図るという返答が事務局からあったが、その金額については示されていない。そのデータがない中で、プランを評価し、最終案を選択することは拙速ではないだろうか。
- ・ これまでワークショップでは、公共施設の統合や複合を前提として議論が進められてきたように感じる。そもそも国は今ある建物を長寿命化していくことを推進しているのではないか。国の方向性と違うことをやっている市の方針はおかしいのではないか。それで経費が節減されるのか疑問である。統廃合と現在の建物の長寿命化の両面から検討して、誰もが納得できる計画にしてほしい。

A案とA2案は通学する子どもの利便性、B案は子育て世代の利便性に配慮した案だと思う。いずれも重要な視点なので、どちらを取るか最終的な判断は市に委ねる。

- ・ A案とA2案は通学する子どもの利便性に配慮した案であり、B案は子育て世代の利便性に配慮した案であると整理できる。どちらの案とするかは、市としてどのような目的を持って施設を統合するかを検討し、市が最終的に判断してくれればよい。

学校の統廃合の指針は、教育委員会・市・学校で決めて欲しい。

- ・ 学校の統廃合の指針については、教育委員会・市・学校で決めて欲しい。

ワークショップの参加者は限られているので、意見の偏りがないように複合や統合が想定される施設の利用者や若い世代の意見を広く吸い上げる必要があると思う。最初に4案が提示された時点で、多くの市民の意見を聞く機会があっても良かったのではないか。

- ・ 今回のような少人数でのワークショップでは意見偏りが生じたり、中途半端な結果を招く恐れがある。統合や複合が想定される施設を利用している人達や将来的に施設を活用する若い人達の意見を吸い上げてほしい。
- ・ ワークショップの3回目で提示されたA案～D案が出た時点で、一旦市民に戻して幅広い意見を徴収する機会があっても良かったのではないか。

提供される資料の中に住民にとってわかりにくい用語や言い回し、説明があるので、表現を変えたり補足をする必要があると思う。例えば、「見える化」という表現やライフサイクルコストの計算方法がわかりにくい。学区問題のアンケート結果はショッキングな内容だったので、データの提示方法にも配慮が必要だと思う。

- ・ 「見える化」などわかりにくい用語や言い回しがあるので、住民に提示する資料はわかり易い表現にしたり補足説明をしてほしい。
- ・ 将来負担の軽減をライフサイクルコストで整理しているが、建替前からなのか建替後

なのか、どの状態からのLCCなのか明確に説明されていないので、もっとわかりやすくしてほしい。

- ・ 三谷地区の竹島小学校世帯のアンケートは非常にショックだった。あれをそのままワークショップの場に出すことで、住民が分裂しかねないものだった。

ワークショップでの話し合いの内容は正確に公開してほしい。ワークショップでの議論を反映して最終決定がなされると、ワークショップで決めたことだと取られる。小学校統合の問題や選好案など、意見が分かれている事柄については特に慎重に伝えてほしい。

- ・ ワークショップのかわら版を見た周囲の人から、ワークショップの内容について質問されることも多い。ワークショップで案を決めるわけではないと言われても、ワークショップを経て物事が決まると、ワークショップで話し合っただけだと周囲は取る。自分は統合には懐疑的なのに、小学校の統合をワークショップで決めた様にと取られるのは心外だ。くれぐれもそう取られることがないように、かわら版では正確な情報を伝えてほしい。

#### <総括>

ワークショップでは、A案・A1案・A2案に対する期待が大きく、その他にB案・D案に対し期待する声もあった。

地区内の児童数の減少が進んでおり、特に三谷小学校については近い将来全学年1クラスとなってしまうことが見込まれるため、学校規模の維持や将来負担の縮減の観点から、小学校を統合すべき・統合もやむをえないとのご意見を多くいただいた。

学校を統合するプランに期待した方の中では、子ども達の通学の利便性を考え、地区の中心に近い三谷小学校敷地に小学校を整備するA案・A1案・A2案への期待が多かった。また、子育て世代の利便性の面から、三谷小学校の敷地に保育園や児童館などの子育て機能を集めるB案への期待もあった。

それぞれの小学校が存続するD案に期待する方の中には、子ども達ひとりひとりを丁寧に見られる小規模校への期待があった。また、子どもの減少について地域の方の実感が広まるまでの選択としてD案を選ぶ方もいた。

いずれの案においても津波・高潮浸水想定域に位置する三谷西保育園の早期移転を求める声が多くあった。

以上のように、様々なご意見をいただいたが、児童数の減少や防災対策など、ワークショップ参加者が地区の課題として認識しているものには多くの共通点があった。